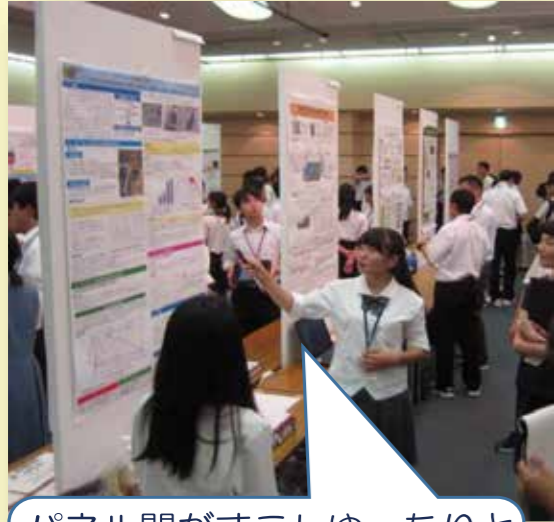
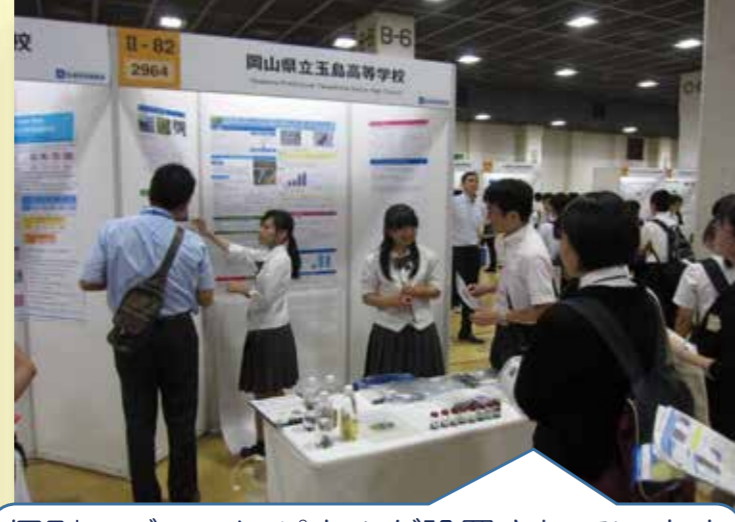


(5) ポスター発表の会場

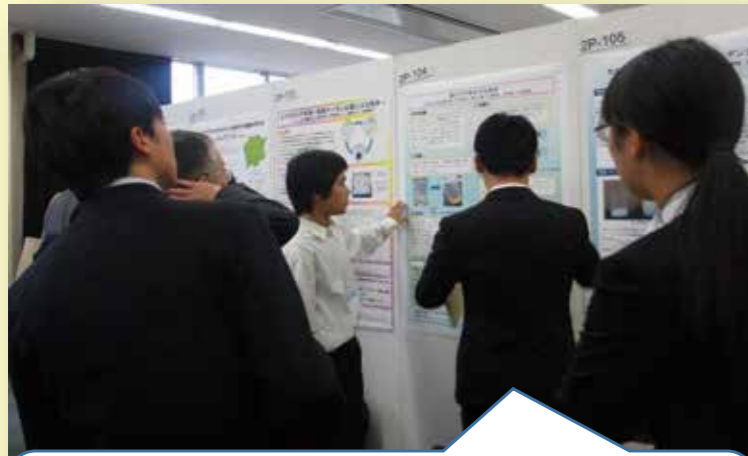
- 発表ポスターを貼るパネルは、隣との間隔が広くとって余裕がある場合とぎっしりと繋げて設置されている場合があります。特に、パネルがぎっしりと設置されている場合は、隣同士が同時に発表しないように、時間を決めて交互に発表する形式になっています。
- 発表パネルの前に、長机が設置されている場合とされていない場合があります。机の上に、実際に使った実験器具や実験サンプル、模型や補助資料を置いて発表内容を伝えるのに効果的に活用できます。



パネル間がすこしゆったりとしていますが、発表はひとつおきに順番にしています。



個別のブースにパネルが設置されています。机も用意されており、スペースも広いです。机を乗り越えて聞き入る聞き手もいます。



パネル間がとても狭く、聞き手との距離がとても近いです。しかし、聞き手が何重にも集まり離れることもあります。



パネルの前に机が設置され、実験サンプルやパソコンが置けます。

(4) ポスター発表の聞き手スタンス ～他の人の発表から良い点を吸収しよう～

- 自分の研究に関連する、しないに関係なく、「気になる」ような発表ポスターや発表者を見つけたら、声の大きさ、色の使い方、レイアウト、説明のテンポや長さ、質問の受け方・答え方、ポスターの作り方等、参考になる点を吸収する。
- 自分から積極的に説明を求めましょう。説明が終わったら、積極的に質問しましょう。質問をきっかけに議論が深まることもある。

明るく！元気に！
ハキハキと！

研究の活動と成果を伝える ポスター発表のコツ



岡山県立玉島高等学校



探究活動の成果発信 ～ポスター発表の指導で大切にしていること～

自分の成果を『発信すること』は勿論、聞き手に『伝えること』が大切である。

(1) ポスター発表の特徴 ～特徴を知ること、次に生きる発表をしよう～

	ポスター発表	口頭（ステージ）発表
発表会場	1つの会場で、同時に多数の発表を行う。聞き手との距離が近い。	1つの会場で、1つの発表を行う。聞き手との距離が遠い。
発表者	発表者と聞き手が双方向の対話（発表、質疑応答、意見交換）を行う。	発表者が一方的に発表した後、質疑応答を行う。
聞き手	会場内を自由に移動して、立ったまま聴く。	会場間を移動して、着席して聴く。
メリット	聞き手に応じて、発表内容を修正対応できる。	一度に多数の聞き手に伝えることができる。

- ポスター発表のねらいとしては、①研究成果を発表する場②今後の研究に繋がる場に分けられる。
- 特に、聞き手とその場で議論ができるので、貴重なアドバイスを得られる。
- ポスター発表の会場は、他の研究者・参加者との交流を深める機会となる。

(2) ポスター発表の準備 ～聞き手の目線で考えて準備しよう～

- 長い間研究してきた過程（研究ストーリー）を振り返り、新鮮な記憶にする。
- 「結果」「考察」等の各項目毎に観点を明確にした発表ストーリーを考える。

（研究ストーリー）≠（発表ストーリー）

- 発表で、何を伝えたいのか意識して発表ストーリー・内容をまとめる。特に伝えたいことを強調することで、ポスターをなぞるだけの単調な発表になりづらくなる。
- 発表者は内容を知っているので、「わかり難いところ」に気付きにくくなりがちである。初めてみる聞き手の立場になって、発表内容を考えて発表ストーリーをまとめる。

(3) ポスター発表の発表者スタンス ～ポスターの傍らに立ち、積極的にアプローチしよう～

- 聞き手は、興味を持ち話が面白ければ「聴いてあげる」という姿勢である。あくまでも、あなたが話したがっているのである。
- 発表者はポスターの方を向くのではなく、前を通りかかる人の方に体を向けて聞き手として呼び込み、いつでもお迎えできる体勢をとる。
- 足を止めたり少なからず興味を持った人が通りかかったら、「聞き手が説明を求めてくる」のを待つのではなく、発表者から「説明しましょうか」等、積極的に声をかけましょう。また、発表を聞いている人が一人でもいると、その光景が他の人の足を止める大きな魅力となります。
- 笑顔でニコニコとした発表は、聞き手の目を引き、耳を傾けさせる効果がある。
- 発表中に知り合いの聞き手が来ても、私語は駄目である。

(4) ポスター発表の発表ポイント ～聞き手を意識して発表しよう～

- 発表者と聞き手の距離が近いので、聞き手の視線が発表者に多く注がれる。そんなとき、ポスターばかりを見て発表をしていたら印象が良くない。聞き手の方を見て話すことを心がけるだけで、発表の雰囲気がとても良くなる。
- 目の前に聞き手がいるのに、原稿に目を落としたまま読むのではなく、語りかけて、伝えるために発表する。

発表の最初と最後に、あいさつをする。

指し棒で、指し示しながら発表する。
ポスター

原稿を持たない、読まない。

発表中にメモを持たない、書かない。

聞き手の方に視線を向けて発表。
アイコンタクト

聞き手の反応を見ながら対応。

発表者側は、発表している人以外も聞き手に向かい整列。

大きな声で、明るく元気にハキハキと発表。
ボイス

発表者は、身振りを加えて発表。
ジェスチャー

聞き手に、実験器具や実験サンプルの実物を提示する。

ニコニコと楽しそうに、研究してきた成果を発表。

実際に用いた実験器具や実験サンプルを提示する。

ポスター発表の仕方

□発表者は自分たちの探究（研究）してきた成果を、聞き手に伝えることを意識してほしい。

(1) 発表ポスターができてから、発表するまでに取り組んでほしいこと

(発表ポスターの内容をチェック)

- 記載内容は、正しいのか確認してほしい。
- 勘違いして書いていることはないか、再度確認してほしい。
- 引用した内容は、正しいのか。
- 調査分析に用いた資料は、正確なのか。信頼性を確認してほしい。
- 何かを非難する内容になっていないか確認してほしい。

発表練習は、
声に出して繰り返し!

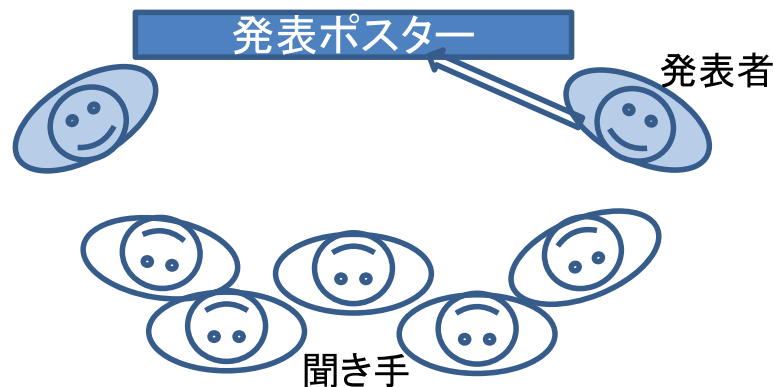
明るく!
元気に!
ハキハキと!

(ポスター発表の練習のとき)

- 発表ポスターができたなら、探究（研究）を始めたときからの活動を振り返ってほしい。
自分たちの探究（研究）してきたストーリーをマッピングして確認する。
- 発表したい内容を、文字にして書いてほしい。
原稿を作るためではなく、自分たちの考えを整理してまとめてほしい。
- ポスター発表会に向けて、自分たちの目標を決めてほしい。
それを達成するために何が必要か考えてほしい。

(2) 発表者:ポスター発表するとき、気を付けてほしいこと

- 発表する前に、聞き手に向かって整列して挨拶する。
研究内容、発表者の名前を伝えてほしい。
- 自分たちが一方的に話すのではなく、聞き手に伝えることを意識してほしい。
発表ポスターに向かって発表するのではなく、**聞き手に向かって**発表する。



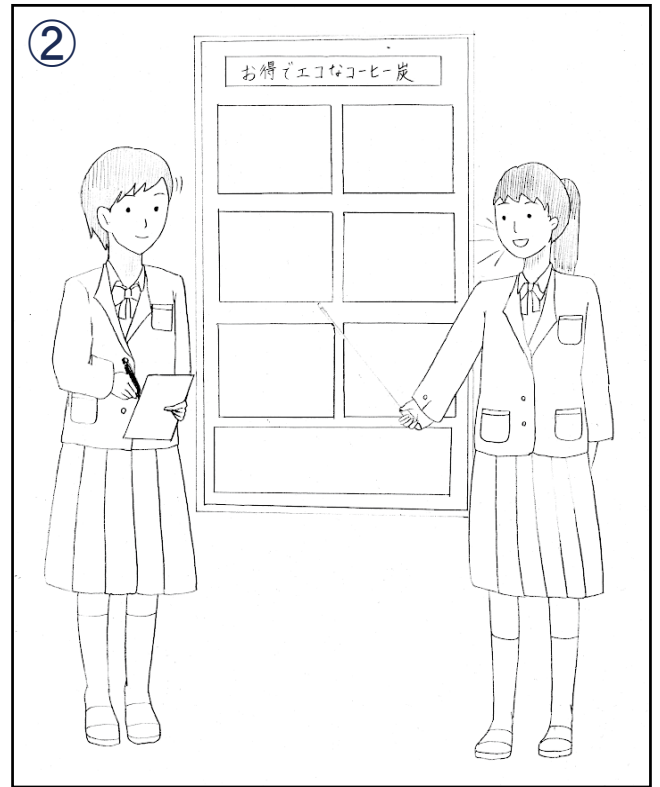
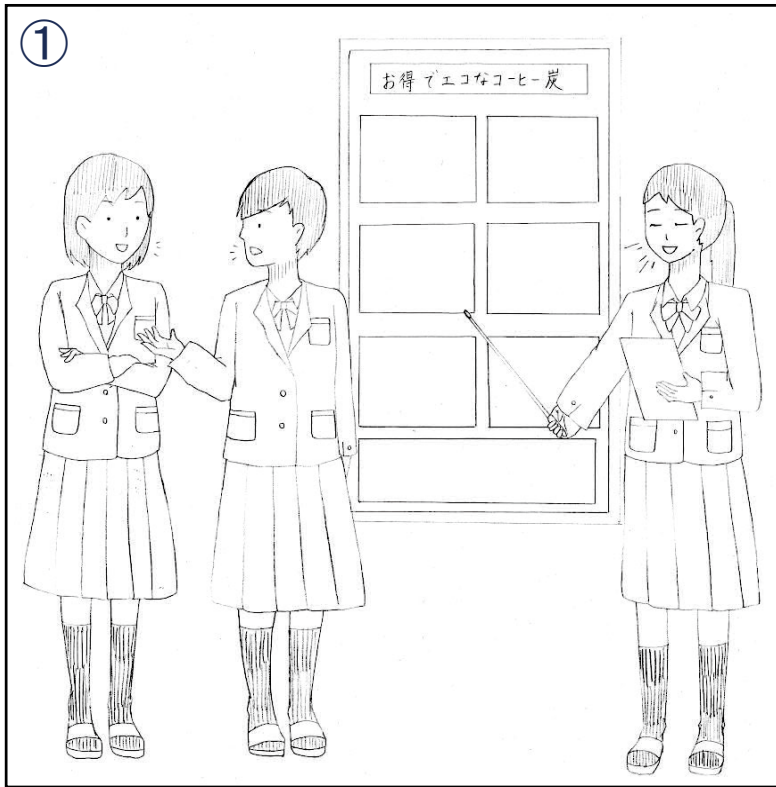
- 原稿を見ないで、自分たちの探究（研究）してきたことに自信を持って、**大きな声で**発表してほしい。
- 発表ポスターの**見てほしいところを指さして**ほしい。
- 発表中は、自分が発表していなくても聞き手の方を向いてほしい。
自分も発表している意識のままでいてほしい。
- 発表が終わったら、聞き手に向かって整列して挨拶する。
- 「何か質問はありませんか。」と発表者から聞いてあげてほしい。

(3) 聞き手:ポスター発表を聞くと、気を付けてほしいこと

- 聞かせてもらう態度になってほしい。(校内発表会では座って、学会では立って聞く)
- 質問ができる**ようになってほしい。でも発表者を困らせることが目的ではない。

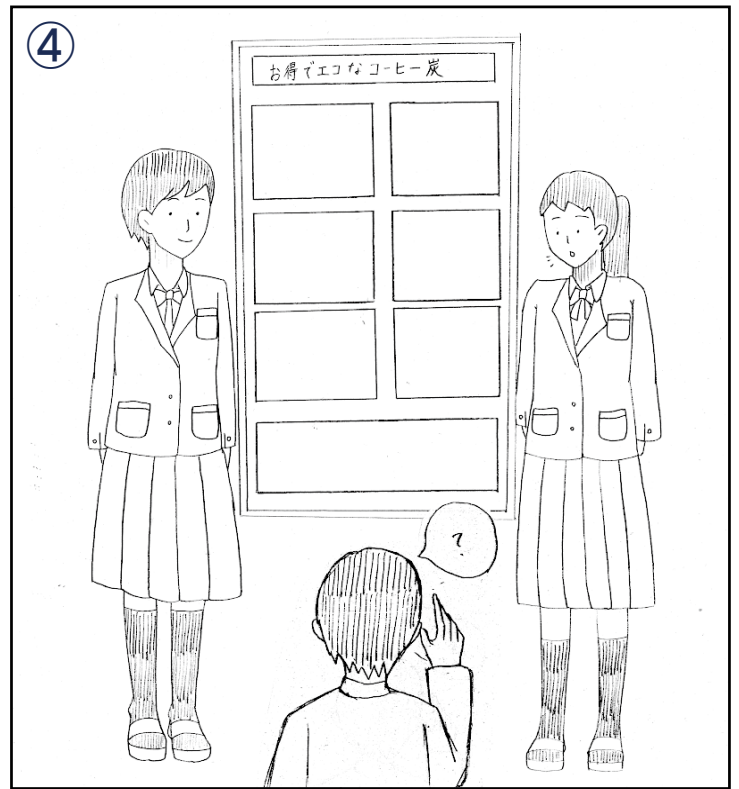
Q. もっとよくするために、どこを、どうしたらよいですか。

聞き手を意識した伝える発表にするために!



発表してない時も発表者

聞き手か、発表者か



待ってる間も発表者

聞き手を意識しているか